高松市バスケットボール協会

開催にあたっての安全対策ガイドライン

具体的な感染防止対策

（１）基本的な感染症対策

①　競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスク着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底する。

②　会場出入口には消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備するなど、適宜手洗いや消毒ができる場を確保する。

③　主に参加者の手が触れる場所は、アルコール等による消毒を定期的に行う。

* **試合後にベンチ及びオフィシャルテーブルをアルコール消毒する。**

④　密閉空間を避けるため、定期的に会場内に外気を入れる換気を行う。

⑤　密集場所を避けるため、控え場所等では人と人の距離を１～２メートル程度あけさせる、更衣室等の利用に当たっては短時間の利用としたり、一斉に利用したりしないなどに留意するよう指導する。また、会場への出入りに時間差を設けるなど動線を工夫する。

* **体育館２Ｆ（柔道場）控え場所では、円にならず、同じ方向を向いて座る。**

**※　試合間のハーフアップは無し。**

⑥　密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないようさせるとともに、応援は拍手のみで行うように指導する。

**※　コート内の選手及び審判以外でコートにいる者は、全員マスク着用。**

⑦　引率者は、試合前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手がいた場合には、帰宅させる。当日参加する生徒の名簿を持参し会場責任者に提出する。

⑧　競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。

⑨　共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。

⑩　新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場制限（無観客試合）を行う。会場内への出入りは試合当日に出場する選手及びマネージャー、顧問、引率者、役員、審判、教職員、のみとし、競技終了後生徒はすみやかに退出し帰宅させる。教職員は、受付の名簿に氏名や当日の朝の体温等必要な事項を記入する。

⑪　開閉会式は行わない。

⑫　参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。

⑬　大会に参加した個人は保健所などの聞き取りに協力し、また濃厚接触者となった場合には、接触してから２週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

（２）当日、生徒等に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

 ①　発熱等の症状がみられる場合、参加を認めない。（３７．５度以上の発熱）

 ②　当日、急に症状が出た場合は、保護者に連絡し帰宅させる。

③　引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

* その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関の指示に従い、その経過等については、市協会事務局に報告すること。その場合、その後の運営を中止することがある。